

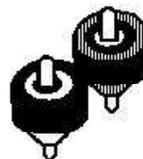
社団法人日本自閉症協会  
奈良県支部ニュース

絆  
きずな

第59号 1月号

購読料1部100円

(会員は会費に含まれています)



ホームページアドレスが変わりました!

NEW

発行: 社団法人日本自閉症協会 発行責任者: 宍戸良朗  
支部長&事務局: 河村舟二 〒639-1055 大和郡山市矢田山町84-10  
TEL&FAX 0743-55-2763

<http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

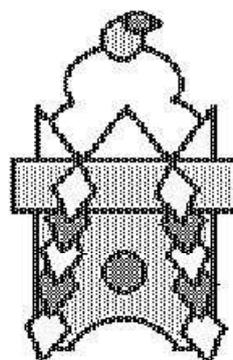
## あけましておめでとうございます

あけましておめでとうございます。

今年には日本の障害者施策の大転換の年とされています。今後10年間の障害者施策についての障害者基本計画が示されました。ここでは、障害の有無にかかわらず、誰もがお互いに尊重し合う「共生社会」の実現と障害者の生活の場を「施設から地域」に移すことを明示しています。また支援費元年でもあり、障害のある本人が主体的に選択し豊かな地域生活をしていく制度が開始するといわれます。そんな中で、国は障害児・知的障害者の地域生活支援を担うコーディネーター事業(正式名称:障害児(者)地域療育等支援事業)の補助金をなくし、都道府県・政令指定都市・中核市の一般財源の中で必要な事業をすることを打ち出しました。コーディネーターは支援費制度における新たな情報提供や困難解決に結びつける窓口として重要な役割を果たします。コーディネーター事業は支援費制度に不可欠なのに、なぜか、この地方財政難の時期に一般財源化するといふのです。身体障害者(市町村障害者生活支援事業)も同じく一般財源化されようとしており、各分野の障害関係者から怒りの声が上がっています。このように理念と具体化に温度差があります。自閉症・発達障害支援センターの予算化等、

やっと我国でも自閉症の教育と福祉に光がさしはじめました。奈良県でこれらをうたい文句に終わらせないため、会員の知恵を結集して行政に具体的施策を実現させる必要があります。今後とも日本自閉症協会奈良県支部の活動に対し皆様のご支援とご協力をお願い致します。

支部長 河村舟二



## 第11回 保護者・保育士・教師・ボランティアのための 自閉症理解講座を受講して

岡田眞子先生のお話を聞いて  
いつもパワフルな眞子先生のお話を楽しみ  
に出席しました。

この日は、一見奇妙に見える自閉症の方の  
行動が、その感覚の異常に原因があることを  
改めて認識しました。五感が過敏であるため  
に情報の多さに混乱したり、苦手な感覚に苦  
痛を感じたり。また、普段授業中に机に寝そ  
べるような姿勢を何とかしたいと思っていた  
のですが、これが問題に集中するために姿勢  
を保持できないためかもしれないと初めて知  
りました。

後半は「行動上の問題を中心に」ワークシ  
ートを使って事例を取り上げての研修でした。  
ワークシートの項目にそって問題となる行動  
を書き上げていくと、問題回避の方法が見え  
てきます。何が問題なのか、どうさせたいの  
か。どうしてその問題となる行動が起こるの  
か。問題となる行動をどんな行動に置きかえ  
ることができるのか。事例を聞いてズバズバ  
切り込んでいく眞子先生の鋭さに頷きながら。  
聞いているうちに私が、日々目の前にしてい  
る問題に答えが見えてくるようでした。

私には給食の偏食の話が印象的でした。小  
学校で教師をする私には給食のことは彼の入  
学以来の問題でした。今では問題というより  
コミュニケーションの練習の機会となってい  
ますが、「食べさせなくては」と思いこんで  
いた頃の私には大問題でした。この講座を一人  
でも多くの教師にも聞いてもらって、学校が  
もっと過ごしやすい場所にならなくてはと思  
います。

奈良市立富雄第三小学校 富山礼子

岡田 眞子先生の講演会に参加して

岡田先生のお話を聞くのは、夏の日帰りレク  
に続いて2回目です。

具体的なお話で、わかりやすく親として、す  
ぐに実践できる内容も多くありました。  
今回も自閉症のひとたちの行動上の問題を  
ワークシート形式で考えていき原因をみつけ  
だして、回りの対応や環境を整えてあげる必  
要性を教えて頂きました。

私自身、子供の事をどれぐらい理解してあげ  
ているだろうと見直す良い機会を頂いた様に  
思います。

まだまだたくさんの事例を上げてのお話を聞  
きたく、是非次の機会をつくって頂ければと  
思いました。ありがとうございました。

療育部 山上 明美



社会福祉法人北摂杉の子会  
大阪自閉症支援センター第3回講演会  
「自閉症文化への道しるべ・ダダ家の療育」

講師：奥平 綾子氏

日時：平成15年1月23日(木)

午前10:00～12:00 受付開始9:30～

会場：大阪社会福祉指導センター5階

多目的ホール大阪市中央区中寺1-1-54

定員：先着200名

参加費：オアシス正会員 無料

上記以外の方2,000円(当日会場で徴収)

申し込み方法：申し込み用紙郵送FAX

〒558-0004 大阪市住吉区長居東2-2-4

加島ビル3階大阪自閉症

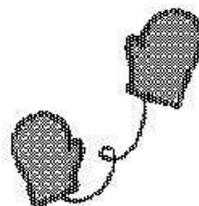
(06)6607-2249 FAX(06)-6696-8613

## 会員紹介(療育部編)

会員の皆様 こんにちは。梅谷樹穂 9才、二階堂養護3年の母、聡子です。梅谷家は、本人と穂志亜3才、亞華聖1才の弟と二人と主人との5人で香芝市に住んでいます。私は5月から仕事を始めました。9:00~17:00のパートで毎日P.Cで入力業務に追われています。私が働くことにより、樹穂は学童に行くことになりました。地域の五位堂小には入れなかったため、就学前に交流でお世話になっていた保育園で小6まで学童をしているのでお願いしたら受け入れてくれました。生活環境が変わって約6ヵ月、夏休み頃から学童のみでおもらしをするようになり、長期戦になりそうなので、学童の先生と親、学校の先生と密に連絡をとりあうようにして、あれこれ対策中って感じです。私の方は、仕事は楽しくて、同じ部署の方に恵れて、Luckyと毎日楽しくすごしています。その一方で、香芝で学童期のサービスセンターを立ち上げようと活動しはじめました。思春期を迎える前に、子供たちの集まる場所をつくりたいという思いもあります。ある財団法人・ある大学の先生・学生さんにご協力を頂いて、子供たち一人一人にあったプログラムを考えて日々をすごせるような場所づくりを目指しています。ただ集まるだけの場所ではなく、子供達が集まるのが楽しいと思ってくれるような場所になればいいなあー、そして学校卒業後も集れる、夢は大きく生活支援センターグループホームを目指そう!!と志だけは大きいんです。なので、まずは、香芝の皆さん、今は預けなくても大丈夫と思っても、将来のことを考えて、皆でがんばっていきましょう。ご協力宜しくお願いしますね。親子共々、毎日楽しく笑ってすごせる日々の為がんばりましょう。

泉 翔太郎 (H6.2.22生)

翔太郎は大和高田市立片塩小学校の障害児学級の3年生です。1才半健診で「3ヵ月後にもう一度来て下さい。」と言われたのがはじまりでした。そのころ年子で妹が生まれたばかりで、そのせいで少し言葉が遅れているのかなとしか考えず、なぜなら、1才半位までは本当におとなしい手のかからない子で、10ヵ月頃には歩き出し、順調に成長してくれていました。1才をすぎても大人ともあまり関わろうとしないことも、1人で機嫌よくあそんでいるからかな?と、思うくらいでした。2才をすぎても言葉がほとんど出ず、2才半ごろリハビリセンターに行きました。自閉症傾向と言われましたが、私自身が障害を持っているということを受け入れられない時期でした。多動になってきた我が子をどう受けとめていいか気持ちの整理ができないまま、3才になってから地域の保育所に加配の先生を付けてもらい入園させました。多動も一番ひどかった時期で、今思えば一番辛かった時期です。小学校に入り、少しずつ多動もおさまり、年々、落ち着いてきてくれ、言葉も単語でコミュニケーションもとれる様になり、この子なりの成長を沢山見ることができ、私自身も自閉症障害のことを勉強し、翔太郎のことを理解してあげられるようになりました。昨年は知的障害の子供のいる親で作っているアトムの会に入ったり、自閉症協会に入会したりと、沢山のひとと交流を持てた有意義な一年でした。これからも翔太郎を通じて、色々な勉強をしたり、沢山のひとと交流をもち、充実した日々を過ごしていければと思います。



## 緊急アピール

# コーディネーター事業をなくすな！

突然、厚生労働省は障害児・知的障害者の地域生活支援を担うコーディネーター事業(正式名称:障害児(者)地域療育等支援事業)の補助金をなくし、都道府県・政令指定都市・中核市の一般財源の中で必要な事業をすることを打ち出しました。地方自治体及び関係団体等への事前の相談は一切なされず、まさに「不意打ち」だまし討ち」と言えるものです。8月の概算要求ではこの事業の拡充と支援費制度に向けてのケアマネジメント加算が示されており、あまりに唐突な政策変更には驚きとともに強い憤りを感じます。新障害者プランの基幹事業に期待されていたこの事業は、一般財源化により地方自治体の意向によって行われることとなります。国以上に深刻な財政難に陥っている自治体が、国の補助金なしで事業を継続させられるのか、大変に危ぶまれます。コーディネーター事業が事実上廃止になる危機に立たされているのです。

### 「事業の担ってきた役割」

この事業はノーマライゼーションの理念のもと、知的障害児・者や家族が地域生活を営むための大切な相談支援を担う大切な事業です。家族が病气やけがで緊急入院した時、電車やバスでトラブルになって窮地に立たされた時、行政や学校になかなかものが言えずに困っている時、駆けつけて解決することができるのがコーディネーターです。それまでの暮らしを変えることなく生活が継続できるように学校や通所施設と支援を組み立てたり、関係調整するなど縦横に活動できる機能を持ったコーディネーター事業は、これからの地域生活には不可欠です。

### 「整備状況」

この事業は障害者プランで全国の障害福祉圏域30万人に2カ所(平成14年度までの設置目標690カ所)に配置される見通しでした。現在の設置箇所数は470カ所(68%)にすぎません。整備が進まない理由は、自治体によってこの事業への理解に差があることです。意欲的な自治体においては、コーディネーターは地域で暮らす障害者の個別的な生活ニーズに応えられるよう、様々な機関との連携づくり、多くの福祉サービスの利用調整を行ってきました。まさに、これから伸びていくべき事業なのです。だからこそ当事業の推進

を図るには国の責任として明確な方向付けが必要です。

### 「支援費制度における位置づけ」

支援費制度は、障害のある本人が主体的に選択し豊かな地域生活をしていく制度です。コーディネーターは支援費制度における新たな情報提供や困難解決に結びつける窓口として重要な役割を果たします。コーディネーター事業はどうしても支援費制度に不可欠なのです。それなのに、なぜ、この時期にこの事業を一般財源化するのか、私たちにはまったく理解できません。身体障害者(市町村障害者生活支援事業)も同じく一般財源化されようとしており、各分野の障害関係者から怒りの声が上がっています。

### みなさんへのお願い！！

こうした状況を阻止するために坂口厚生労働大臣にコーディネーター事業をなくさないように訴える手紙やメールを送りましょう。大臣への手紙を下記へお送りください(右に例をあげました)。皆様から集まった手紙を直接大臣に渡す機会を作る予定です。

### コーディネーター事業を推進する会

#### 呼びかけ人代表

福岡 寿(長野県・北信圏域障害者生活支援センター所長)  
山田 優(地域生活支援センター「らいふ」)  
小林繁市(伊達地域生活支援センター所長)  
松友 了(全日本手をつなぐ育成会常務理事)  
根来正博(全国地域生活支援ネットワーク代表)  
加瀬進(東京学芸大学助教授)

### この緊急アピールについてのお問い合わせ先

#### 「コーディネーター事業を推進する会」

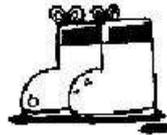
事務局 堀江まゆみ(白梅学園短大)  
TEL 042-346-5657(内321)  
mail <[mayumi@shiraume.ac.jp](mailto:mayumi@shiraume.ac.jp)>期日に遅れても届けますのでどんどんお寄せ下さい。

### 坂口力厚生労働大臣へ

コーディネーター事業をなくさないでください！  
(ここに、自由にみなさんの思いを書いてください)

年 月 日あなたのお名前 (できれば連絡先も)

<送付先> 〒105-8799 芝郵便局止め  
坂口力大臣への手紙～コーディネーターを  
つぶさないで係 宛 FAX 03-3387-  
0820 (堀江宛) Eメール  
todaijin2003@yahoo.co.jp  
「大臣への手紙」第一次締め切り



### 総会へのお誘い

4月に定例の総会を行います。昨年度は檀原万葉ホールでの開催でした。

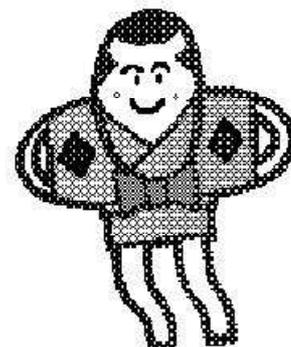
いつも足が向きにくい南部の会員さんのためにと、檀原での開催でしたが、思ったより参加して下さった会員さんが少なく、残念に思いました。

今年度の総会も会員の皆さんに賛否を問わなければいけない案件が、たくさんあります。自閉症協会奈良支部は100人程の会員数ですが、みなさんの思いや願いがきちんと反映されなければいけないと思います。

そのためには是非総会に参加してみませんか？皆さんが参加している会の運営状態、

関連の講演会も聞いてみてください。お待ちしております。

今年の総会は2003年4月27日(日曜日)  
大和郡山城ホール(大和郡山市立文化会館)  
レセプションホール  
大和郡山市北郡山町211番地の3  
で行います。今から皆様の予定に入れておいて下さい。



役立つ商品を紹介します  
お出かけ用ワッペン  
実物が事務局にあります。  
自作されてみてはいかがでしょうか。

一見楽しい障害者  
収めてはの(鎖のイヤホーン)。  
百転も気にせず  
思いっきりお出かけも  
楽しんじゃおう!

障害者の保護者が作った「保護者の心の負担」を軽減する  
**お出かけ用ワッペン**  
販売価格:ABセット1,000円(送料別、送料別途  
210円〜送料別)

**A** お子さまの衣服の胸、胸部分などにつけて使用します。  
お出かけ用ワッペン

表面  
よろしくお願ひします。  
障害を抱えています。  
handicapped

裏面には油性マジックで  
書き込めがきますので  
迷子札としての機能もあります。

**B** お子さまの衣服の背中部分などにつけて使用します。  
お出かけ用ワッペン

障害を抱えています。  
只今訓練中

**お申込み・お問合せ先**  
商品のお注文は裏面の注文書を  
よくお読みになり ご記入の上、  
下記までFAXにて送信ください。  
**FAX 03-5464-0607**  
有限会社 ダンドシ 担当:悠健  
〒152-0012 東京都渋谷区松涛5-1-14-208  
TEL 03-5684-0608  
メール: dandoshi@net.ne.jp

お申し込み  
のご案内  
発行済です。

中区自閉症協会 デューアップ  
TEL 045-822-8218  
担当:悠健 TEL: 03-5464-0607  
©2003年4月1日現在 自閉症協会奈良支部 発行

投稿コーナー

また、また藤原です。皆様こんにちは、ご機嫌いかがですか？私、41 才にして更年期に突入です。通院しております。今回の話は、うれしくて、ポツとしてしまった話です。ソーシャルスキルの教室へ行く日のこと。みほとしゃべりながら移動中、王寺駅で突然「お母さん幸せ」と言われました。えっ！一瞬、自分の耳を疑いました。あわてて「お母さんも幸せ、みほちゃん大好きだし」と言うのがやっとな。うれしくて頭の中は、バラが一斉に咲いた感じ。私がポツと幸せを感じている間、みほは、幸せの理由を話し続けていました。教室に着いて、先生にそのことを話したら、「これまでお母さんが頑張ってきたことは、みほちゃんを見たらわかります」と言われ、その言葉にポツ。その日、頭の中はお花が咲いたまま、ほあ～んとしていました。問題行動が解決した後だけに、うれしくて、うれしくて。問題行動の原因は何かわかっていましたし、みほの力を信じ、今回ティーチの技法は使いませんでした。問題行動は11月17日を過ぎたらピタッと止まりました。問題行動が出て、成長がいったん後退したように見えたが、すごく成長してくれてうれしいです。



第9回 奈良YMCA LD児理解講座

LD児及び周辺児への関わり方

2003年1月19日(日曜日)10:30～15:30

奈良県文化会館小ホール(奈良市登大路町)

講師：竹田契一 岩坂英巳

定員250名・参加費1000円

申し込み：電話予約当日参加費支払い

奈良YMCA教育センター

\_\_0742-44-2291 FAX0742-44-2292

お知らせ

下記の抗議内容の文を12月20日～21日にかけて、

- ・厚生労働大臣 坂口力
- ・社会援護局長 河村博江
- ・障害保健福祉部長 上田茂
- ・支援費制度施行準備室 社会援護局障害保健福祉部企画課長 足利聖治
- ・社会援護局障害保健福祉部障害福祉課長

郡司 巧

にFAXあるいはメールを出しました。

厚生労働大臣 坂口力 様

社団法人日本自閉症協会奈良県支部 支部長 河村舟二

日々福祉の向上のためにご尽力くださりありがとうございます。

現在全国各地で展開されている「市町村障害者生活支援事業」「障害児(者)地域療育等支援事業」は、身体障害者・知的障害者・自閉症者並びに障害児の地域での生活を強力かつ柔軟に支援するためのツールとして有効に活用されてきました。当事業によって活躍しているコーディネータなども少なくなく、私たちは当事業の障害児者福祉への貢献度は極めて高いと思います。

ところが、今回いわば極めて唐突に本事業が一般財源化されるとの情報を得ました。地域での社会資源はまだ十分ではなく、今後益々増えていかなければなりません。各都道府県でもこの事業を柱に据えて地域支援を進めているところは少なくないと思いますが、そのような事業計画の継続性を打ち壊す暴挙であると言わざるを得ません。

私どもは、今回の一般財源化に反対し、ここに抗議を致します。

大臣には、ぜひ障害者の地域生活支援の意義をご理解いただき、一般財源化の撤回に向けてご尽力いただければと願っております

## 善意バス利用旅行「海遊館へ！」 参加家族募集

14年度・善意バスの申請が認められ、利用できる事となりました。以下のように計画いたしましたので ご参加よろしくお願ひいたします。

行き先： 海遊館

実施日： 平成15年3月24日(月)

定員： 55名(1団体1台のみ、有料バス併用不可のため)

参加規定：療育部会員は一家族で親子2名の参加のみ

成人部は 成人部会の通り

参加費： 入館料(療育手帳で半額)・昼食代のみ

申込・問い合わせ先

療育部

TEL 07443(2)6630 上島

成人部 横木まで

申込締切 1月31日(金)

申込多数の場合は 11月の療育キャンプに参加の方はご遠慮いただき、定員になりしだい締め切りとさせていただきます。

尚、善意バスの規定により3月24日の実施となりましたことをご了承下さい。

### 自閉症協会奈良県支部のホームページ

「きずな」のURLの変更について

長らく利用していたjustne(一太郎の会社)がso-net(ソニ-系)に統合され無くなりましたので、これを機会にk-opti.com(関西電力系)に変更しました。

新しいホームページアドレスは <http://www.eonet.ne.jp/~asn/> です。運営者の河村のメールアドレスも変更になります。今後は次でお願いします。Kawafune@ares.eonet.ne.jpです。

### 療育部 新年会のお知らせ

日時

2003年(平成15年)1月16日(木)  
11時30分から

場所

肉のさかもと(北海市場)郡山店

(美濃庄町西堂ノ前170-1)

国道24号線 大江町南交差点

(フジエダコーヒーのある交差点)より

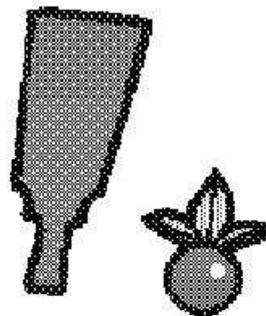
奈良方面寄りに車で2分

JR・近鉄郡山駅よりタクシー5分

費用 1人 1800円前後

出席される方は1月9日までに連絡網上の役員まで。

多数のご参加お待ちしております。



### 編集後記

あけましておめでとうございます。良い一年でありますように。支部ニュースについての感想、ご意見等がありましたら、宍戸(0742-49-3855)までか、または、最寄りの支部役員までお願いします。

## 事務局から

平成 14 年 12 月 15 日(日曜日)大和郡山市福祉会館 2F 会議室で行われた役員会の内容

### 1) 経過報告

事務局・療育部・成人部

9/14 第 10 回保護者・保育士・教師・ボランティアのための自閉症理解講座  
奈良市総合福祉センター 講師：門 眞一郎 氏

10/26 ~ 27 発達療育・就学相談

11/23 ~ 24 療育キャンプ：場所 - 国立曽爾少年自然の家  
(奈良県宇陀郡曽爾村太郎路)

12/8 第 11 回保護者・保育士・教師・ボランティアのための自閉症理解講座  
奈良県文化会館 講師：岡田眞子 氏

### 2) 平成 15 年度事業について

社会福祉・医療事業団の助成事業について、

テーマ：「自閉症児者の生活支援と家族交流事業」が県社会福祉協議会から推薦されている。 結果は 4 月上旬

### 3) 自閉症総合支援センター構想...室生村西谷の例

4) 自閉症・発達障害支援センター設立のための NPO 法人業務内容説明  
(関西福祉科学大学の 大西さん・絹谷さん)

5) 平成 14 年度善意バス利用計画... H15 年 3 月 24 海遊館

### 6) 第 6 回 定期総会日時・場所・持ち方

日時：大和郡山城ホール

場所：大和郡山市北郡山町 211 番地の 3

内容：検討中

### 7) その他

日本自閉症協会近畿ブロック会議

日時：2003 年 1 月 26 日(日) 13:00 ~ 16:00

場所：大阪市東淀川勤労者センター(和知・河村出席予定)

第 2 回強度行動障害について理解を深める会

2003 年 2 月 8 日 13:00 ~ 16:00

奈良女子大文学部北棟 103 教室

